

ボーダーの会

区境での問題点の掘り起こしと行政への提言

私たちの住む神奈川区は、鶴見区、港北区、緑区、保土ケ谷区、西区の5区と接している地域があります。

ボーダーの会では、日常生活の中で区境の様々な問題点を調査したところ、地域の方々は「防犯、学区、避難場所」についての関心が高いということがわかりました。そこでまず、区境に関わる「地域防災拠点」や「広域避難場所」についての問題点をテーマに、活動を開始いたしました。

具体的な活動

- ①問題点の調査（住民の方からの意見・現地調査・アンケート他）
- ②現状把握（今回は3ヶ所を重点地域に設定）
 - ・東寺尾配水池及び松蔭寺一帯
 - ・横浜国立大学
 - ・三ツ沢競技場一帯など
- ③問題点整理
- ④解決策への検討・抽出
- ⑤行政への提言と地域住民への結果報告



これからも地域住民と一体となって、区境における問題点の解決に努めてまいります。

つながろう会

どうすれば若い人たちは地域とつながるんだろう？

つながろう会は、地域の人材発掘（町内会役員のみならず）、中高生を地域につなげるしくみづくりをテーマに活動しています。

12歳で小学校を卒業して、65歳前後で会社を退職するまでの間、地域とつながる機会は少なくなります。特に、神奈川区は、都心にも近く、働く世代の興味は地域の外に向かいがちです。

地域の活動に参加する人が減っては、町内会の役員を探すのも、なかなか難しいもの。

「どうすれば若い人が地域の活動へ参加するのだろうか？」



ファーストフード、カジュアル衣料、…、不況でも繁盛している会社があるように、地域でも中高生の関心を集めている事例があることを知りました。

- ・地域の盆踊り → 現代風にアレンジした「ソーラン節」
- ・地域の防災訓練 → 学校教育と連動した防災訓練

まずは、中高生の関心を知ることから。

成功している事例の調査や、中高生による自主企画などを通じて調査し、中高生が参加したくなるような地域行事を探っていければと、今後も活動に努めてまいります。